



～ 学んで味わう 地元の味 ～

1月22日、白百合保育園で、町地産地消協議会主催の食育教室が開かれました。食育講話のほか、年中・年長の園児とその保護者約40人が、黒米やモチキビを混ぜ込んだご飯を使って、おにぎり作りに挑戦。自分で作った丸型やハート型のおにぎりを、口いっぱいほおばっていました。

シリーズ⑨



地物のそばを自分で打って舌鼓
水源の郷でそば打ち体験教室

1月18日、水源の郷交流館で、そば打ち体験教室が行われました。
この日は、地元で栽培された100%小国産のそば粉を使用。参加した約10人は、地域のかたがたに指導を受けながら、ていねいに水を混ぜたり、練り込んだりして、二・八そばの打ち方を学んでいました。
その後は、おいしくゆでる方法まで指導を受けながら、それぞれ自分のそばを味わっていました。



伝統の巧みな手業
第27回つる細工講習会

1/21~23

一月二十一日から二十三日まで、国民宿舎飯豊梅花皮荘で、町観光協会が主催する「つる細工講習会」が行われました。
第二十七回目となる今回は、四十六人が参加し、あけびなどのつるを使って作品づくりに挑戦。手業に磨きをかけようという町内のかたや、夫婦で参加している県外のかたの姿が目立ちました。参加者は、伝統技術をもつ町内愛好家や、上山市から招いた講師から指導を受けながら、材料や編み方を工夫し、自分だけの逸品を仕上げていました。

白い森発

ぐるっと
情報局

小国中・小国高生らが吹奏楽を披露
ウィンターコンサート in アスモ

12/28



十二月二十八日、小国中学校と小国高校の吹奏楽部の生徒と、そのOBによるウィンターコンサートがアスモで開催されました。
当日は、人気アニメや映画のテーマソングなど、子どもから大人まで親しみやすい曲目が披露され、買い物に訪れたかたがたも、店内いっぱいに響きわたる音色に足をとめて聞き入り、大きな拍手を贈っていました。



除雪協力会
会長 高橋 清人 氏

当会は昭和38年の豪雪で、町が10日にわたり陸の孤島となったことをきっかけに組織されました。官民一体の除雪を基本とし、道路部分は町で、屋根や家の周りには近隣単位で一斉に作業をし、当会の車両で排雪しています。また、町中心部の商店街や駅前など共用の場所では、町と協力会の車両によって共同で除排雪し、個人負担の軽減と快適な環境づくりに努めています。町中心部に居住する約1,100世帯と、約60の商店・企業からいただいた協力金を主体に運営し、他市町村の手本として多くの視察を受けているほか、平成14年には東北雪対策連絡会議の功労賞を受賞しました。

町にとって、雪は永遠の課題ですが、官民一体での克服が町づくりの一環だと思います。みなさまのご理解とご協力に感謝を申し上げます。今後とも活動の充実に努めてまいります。



地域の里山環境を学ぶ 大宮ふるさと塾

一月二十四日、宮の森会館で、大宮ふるさと塾が開催されました。本年度二回目となる今回は、約四十人が参加。実行委員長からの本年度の活動報告に続いて、講演会が行われました。

講演会は、大宮地区でナラ枯れ調査を実施している県森林研究研修センターの斉藤正一郎長が講師を務め、大宮地区にある姥杉の樹齢に関する調査結果などを説明。このほか、ナラ枯れ対策や、自然環境の変化などに触れながら、木を上手に利用していくことの大切さを語っていました。



災害に強いまちづくりを目指して

消防防災体制と自主防災



～災害や火災の脅威から
命や財産を守る～

近年、地域の安心・安全
な暮らしを守るため、住民
が主体となった「自主防災
組織」という新たな動きが
活発になってきています。
今回は、現在の消防・防
災に対する取り組みと、自
主防災組織に関する活動な
どについて紹介します。

消防・防災体制の
現状は、いま

昭和六十二年、当町を含めた西置賜の全市町（一市三町）は、西置賜行政組合を組織し、各市町の分担金などにより消防行政を広域的に展開してきています。組合では、長井市に消防署や消防本部、防災センターを設置しているほか、白鷹町、飯豊町、そして当町に消防分署を設置し、それぞれに、必要な人員と設備を配備しています。

現在、小国分署（飯澤孝分署長）には、十五人の職員（うち救急救命士五人）が配属され、行政や消防団と連携しながら、常時、地域の安全を見守っています。専門の知識と行動力を備えたエキスパートたちによるこの二十四時間体制は、「常備消防」と呼ばれ、私たちの暮らしに大きな安心感を



救急救命法を学ぶ消防団員

もたらしています。
一方、昭和二十九年に結成された小国町消防団（渡部錬太郎団長）は、常備消防とは異なる「非常備消防」と呼ばれるものです。
消防団は、消防以外に本業をもつ地域のかたがたによって構成された組織で、現在は、本部分団のほか、それぞれの地域に八つの分団を配置し、合計約四百人が在籍。災害や火災の際には、現場へ急行して、消防士などとともに活動したり、救護支援を行ったりしています。

小国分署では、毎年、年明けに行われている町の消防出初式や、関係機関と連携して取り組む総合防災訓練などをおして、万が一の際の行動を確認しながら、職員や消防団員を含めた地域全体の士気高揚を図っています。

風化させない 万が一への心構え

また最近では、AEDや住宅用火災警報器などの普及に伴い、地域や企業などに向いての講習会にも力を入れています。昨年は、救急救命やけがへの対応を学ぶ講習を十九回（計六百九十六人参加）実施したほか、約三時間にわたって心肺蘇生などの救命法を学ぶ普通救命講習を七回（計百七十一人参加）行っています。これは西置賜では、長

井市に継ぐ実施回数と受講者数で、住民の関心の高さの表れにもなっています。災害は、いつ、どこで、何が起こるのか誰も予測ができません。
火災や防災、救急救命などの対策はもちろんですが、飯澤分署長が話すように、私たち自身が、日頃の暮らしの中から心の備えをもって、予防や対処に活かしていくことが大切です。

「心の備え」を 万全に

西置賜行政組合
消防署小国分署長
飯澤 孝氏



旧横川ダム工事事務所に移転した分署では、これまでよりも広いスペースが確保できるようになり、職員の訓練や各種講習会などにも利用できる恵まれた環境となっています。

また最近では、これまでの業務に加えて、地域などからの要請に応じて職員を派遣し、必要な講習会を行っています。昨年11月には、防火水槽を設置したばかりの下大石沢地区で、消防団（第8分団）と地域住民による合同の防災訓練なども実施するなど、消防団や地区全体の総合的な防災力向上に努めています。

火災にしても、自然災害にしても、常に「心の備え」を大切にしていれば、予防的な行動を取ることができますし、被害も抑えることができます。

分署では、実際の訓練などをおして、一人ひとりが「心の備え」を持てるよう、今後も活動を充実していきたいと考えています。

高める地域の防災意識 「自主防災組織」の必要性

当町では、非常備消防の消防団が、それぞれの住んでいる地域内の結びつきを活かして、有事に備えた消防防災対策のほか、遭難救助など、さまざまな面で活躍しています。

しかし災害は、その規模が大きくなればなるほど、助けを必要とするかたが増えてしまい、結果的に救助活動が遅れる可能性が高く

●町の自主防災組織の状況

(平成21年1月26日現在)

組織数(団体数)	加入世帯数(合計)	組織率(世帯割合:%)
20	779	23.9

●県内の状況 (平成20年11月30日現在)

	組織数(団体数)	組織率(世帯割合:%)
村山地方	1,054	69.0
最上地方	201	41.4
庄内地方	1,114	89.1
置賜地方	395	43.6

なります。また、道路が寸断されたり、情報が遮断されたりして、救助に行けない場合も考えられます。

このような時に必要となるのが、「自主防災組織」。みんなが被災者となったとき、避難にしても、救助にしても、一人ひとりがバラバラに行動してしまつては、かえって混乱を招いてしまいます。あらかじめ、自主防災組織を立ち上げ、行政や消防団と協力して、一体的な防災活動を展開できれば、より効率的で安全。被害も最小限に防ぐことが可能となります。

また最近では、集落の人口減少や高齢者世帯の増加などによって、地域におけるコミュニティ機能の低下が心配されています。自主防災組織は、自分の住む地域の現状に目を向け、近所、一緒に安全を考えるきっかけにもなります。

町では、平成十九年から、



平成19年度に大宮・宮の台地区で行われた町総合防災訓練の様子。

自治会や公民館などにこの組織の立ち上げを呼びかけました。効果を最大限に発揮するため目の届く範囲での組織化が望ましいとされています。これまで町に届出されている自主防災組織は、二十団体、合計七百七十九世帯。県内全体の組織率から見るとまだ高い水準とはいえませんが、実際の背景には、消防団や隣組など、地域における既存の結束力が、自主防災組織の役割を兼ね備えてきたという実情もあります。

「自主防災組織」って？

災害時に初期活動を行い、被害と混乱の拡大を防ぐための住民組織。

阪神・淡路大震災（平成七年）での住民による救助・消火活動、ボランティアの炊き出しが組織化のきっかけ。主な活動は次のとおり。

【平常時には】

- ▼防災意識の普及
- ▼防災訓練
- ▼防災資材の備蓄など

【災害時には】

- ▼救出・救護
- ▼初期消火
- ▼避難誘導
- ▼給水・炊き出し
- ▼情報収集・伝達

※町や西置賜行政組合では、自主防災組織づくりを応援しています。組織づくりに関する詳しいことは、町民課へ

訓練を繰り返し 地域を守る団結を

宮の台自主防災組織
(宮の台自治会長)

丹 忠勝 さん



防災に活かす

「結」の精神

公共の救助は「公助」、自分でできる対策をとることを「自助」といい、これに対して、地域のかたがたが協力しあうことを「共助」といいます。こうした相互

扶助の精神が、自主防災組織に求められる姿とされています。自主防災組織は、多くの場合、地域で機能する既存の自治会などを基礎としながら、地域のつながりを活かす組織として設置されています。
平成十九年に自主防災組織を結成し、これまでさま

宮の台では、一昨年、町の総合防災訓練がこの地区で開催されたことをきっかけに、住民みんなで防災について考えるようになりました。これまで、消火栓などを使った消火訓練のほか、避難訓練、救助訓練、炊き出し訓練を行っています。

訓練は、既存の地域行事に合わせて実施するようにしています。訓練だけに集まるよりも、この方が参加率も高く、個人の負担も少なくて一石二鳥。また育成会の行事でも、炊き出し用防災グッズを使いながら、実際にご飯を炊いたりもしています。私たちの活動をとおして、日頃からの防災意識が着実に高まってきているのを感じています。

自主防災組織は、その組織化が目標ではありません。もしもの時に、きちんと機能しなければいけないものと思います。

これからも、地域住民みんなで、実際にとるべき行動を確認しながら、災害時でも冷静に対処できるように、これからも繰り返し訓練を重ねていくつもりです。



◀ 昨春に、宮の台自主防災組織が取り組んだ消火訓練の様子

ざまな活動を行ってきた宮の台地区自主防災組織（宮の台自治会長）の丹忠勝さんに話を伺いました。

手を取り合って

真に災害に強い町を

町では、災害に強い町を目指して「小国町防災計画」を策定し、必要な対策を定めています。

しかしながら、子どもや高齢者など「災害弱者」と呼ばれるかたへの細やかな対応については、自主防災組織に代表される地域内の結束力の方が、より実情にそった効率的な救助につながります。そのため町では現在、自主防災組織支援制度を創設して、活動に対する助成を行っています。

自然災害は、誰も防ぐことができません。しかし、手を取り合うことで、被害を抑えることは可能です。

町では今後も、公助と自助、そして共助の連携が図られるように努めながら、一層安全で安心な暮らしの実現を目指してまいります。

山形県知事選挙

「吉村新知事誕生」

町の投票率

七五・七七%

前回を五・八八%上回る
期日前投票が増加

1月25日(日)、山形県知事選挙が行われました。当町における各候補者の得票結果は左のとおりです。

【町の得票結果】 (届出順)

吉村 みえこ 氏	2,373票
さいとう 弘 氏	3,407票
投票率	75.77%

(当日有権者数 7,668人)

また町の投票率は、七五・七七%で、前回(四年前)の県知事選挙を五・八八%上回っています。

町の期日前投票者数は、千二百五人で、前回(五百八十八人)より六百十七人多く、期日前投票を行うかたが、次第に増えている傾向となっています。

吉村氏が初当選

県内全体の選挙結果は、吉村氏が三十二万三千二百二十四票で、齋藤氏を一万七千七百十二票上回り、吉村氏が初当選。一月二十八日には、県選挙管理委員会より当選証書が手渡され、二月十四日から吉村新県政がスタートすることとなりました。



白い森杯小中学生バレーボール交流大会

一月二十四日、町民体育館で、町バレーボール連盟などが主催する小中学生バレーボール交流大会が開催されました。

昨年続き二回目となるこの大会には、置賜地域や新潟県下越地域の各小中学校から計二十三チームが参加。町民体育館のほかにも、小国中学校と小国高校の体育館を使い、三会場に分かれて熱戦が繰り広げられていました。

介護予防を目指して

一月二十三日、舟渡活性化センターで、「元気でいきいき教室」が開催されました。町が、認知症への対応を学んでもらおうと開催したこの教室には、三十二人が参加。認知症ともの忘れの違いや家族の心構えなどを学んでいました。またこの日は、健康管理センターでも開催され、元気に暮らすための口腔ケアについて学んでいました。



町の緊急経済対策を実施

国内外の経済情勢の急激な悪化により、町内においても中核企業やその関連企業などが厳しい経営環境におかれ、雇用不安が拡大しております。

町では、町民生活の安心と、離職者に対する雇用の場の確保を図るため、次のような対策を実施しています。

①総合窓口業務と

各課相談業務を強化

町民課に生活総合相談窓口を設置しました。そのほか、関係各課にも相談窓口を開設しています。

②臨時職員を募集します

企業等の雇用調整により離職されたかたを、町臨時職員として募集します。

▼雇用期間 2月4日～3月31日

▼業務内容 一般事務補助、

森林作業員、送迎運転業務、文書配布業務、介護員、施設管理業務

■募集人員 二十人程度

■対象者 企業等を離職

された町内在住のかた

■申込方法 市販の履歴書

を町雇用相談窓口へ提出

してください。なお、ハローワーク長井からの紹介者を優先します。

■受付期間

1月21日(水)から随時(土・日・祝日を除く)受け付け、定員になり次第締め切らせていただきます。

③生活支援のため

貸付金制度を新設

離職により生活維持が困難となった世帯へ、生活資金をお貸しします。詳しい内容や、要件などについては、町社会福祉協議会(☎62-2825)へお問い合わせください。

※詳しいことは、産業振興課(☎62-2416)へ

中学生作文コンクールで 秀賞を受賞



昨年十二月に行われた第三十四回中学生作文コンクール(東北電力主催)で、白沼中学校三年の大河原国之くん(沼沢)が、応募総数二万七千三百編のなかから、見事秀賞を受賞しました。大河原くんの作文には、農作業や学校生活のなかで感じた自然の偉大さや、その恵みに対する感謝の気持ちなどが綴られています。

温身の郷で「団子さし」

温身の郷で、一月十五日、恒例の団子さしが行われました。この日は、施設利用者のかたがたが、赤や黄色など、色とりどりの団子づくりに挑戦。完成した団子をホールで職員と一緒に協力して飾り付け、とてもカラフルな団子の木が完成していました。



残したいふるさと 「にほんの里100選」＝

小玉川地区が選ばれました



小玉川地区で新たに取り組んでいる生活体験ツアーは、県外のリピーターにも人気

豊かな自然と景観を評価

このたび、朝日新聞と財団法人森林文化協会が主催する「にほんの里100選」(山田洋次選定委員長・映画監督)に、当町の小玉川地区が選ばれました。

これは、「里は人の営みが表された景観」という認識のもと、その景観や自然をテーマに、「里」の大切さを

見つめ直そうというものです。選定にあたっては、①暮らしが生み出した調和のとれた景観、②生物の多様性、③里の恵みを活かす人の営みといった三つが条件となっています。



山菜など豊かな恵みとともに暮らしてきた

小玉川は、地域のかたがたが生活しながら、守り、利用してきた「里山」の景観が評価されたほか、森林セラピーなど、森林を活かした新たな展開についても注目されています。県内では、当町のほかに鯉川村が選ばれています。

今後は、マスコミなどによる広報活動なども予定され、小玉川の魅力がさらに広まるものと期待されます。

小中高一貫教育

リーダー研修会

自覚と自信をもって リーダーシップを発揮

総合センターで、十二月二十六日、小中高一貫教育リーダー研修会が開催されました。

これは、それぞれの学校におけるリーダーの育成や学校間の連携などを目的としたもので、当日は、町内す



レクリエーションを兼ねて、お互いに自己紹介



積極的に挙手したり、発表したりする場面が目立った

べての小・中学校と小国高校から、代表の児童・生徒三十六人が参加。自己紹介を兼ねたレクリエーションに続いて、「聞く力」と「発表する力」を身につけるためのポイントなどについて講習が行われました。

このほか、研修会では、学校や学年に関係なくグループが構成され、学校生活などをテーマに、小学生から高校生までが、それぞれ堂々と、活発に議論を交わしていました。



◀渡部氏の絵画やその活躍を紹介する専門誌の数々



町長に活動報告をする渡部利之氏

◆郷里の思いを絵画へ

沢中地区出身の芸術家・渡部利之氏が、十二月十二日、町長を訪れ、自身の活動報告を行いました。

昨年六月に、渡部氏の心象風景画『冬のプレリウド』が、フランス政府公認のミレー友好協会より、ミレーの生誕地であるボーモ

渡部利之氏（沢中出身・河北町在住）が
ふるさと描き
国内外で高い評価



著書「母のこと」には、創作活動の原点である母親への思いが綴られている

ン・ハーグ市長賞に選ばれました。また、国内でも数多くの作品が高い評価を受けています。このほか、自身の母親の生き方などを綴った著書「母のこと」は、第九回日本自分史大賞（日本自分史学会主催）で優秀賞を受賞しています。

渡部氏は、「結婚をきっかけに、今は河北町に住んでいます。作品の根底には、今も目に焼き付いている故郷の風景があります」と、ふるさとへの思いを語り、作品が掲載されている専門誌や著書などを町に寄贈してくださいました。



冬のマタギ集落を体験

一月十一日、マタギ集落の四季体験ツアー冬編が、小玉川地区で行われました。一泊二日の日程で行われたツアーには、県内外から十九人が参加し、サイズ焼きや団子さし、雪山トレッキングなどを体験していました。また今回は、広報集客などにおいて、山新観光と連携するなど、取り組みに新たな展開が図られています。

ウィンタースポーツ教室

一月十八日から、町教育委員会とスキークラブの共催で、ウィンタースポーツ教室が開催されています。

小学生のスキーやスノーボード技術向上を目指すこの教室には、約五十六人が参加。一回目のこの日は、胎内スキー場で開催され、それぞれのレベルに合わせて練習を行いました。今後は横根スキー場を会場に、土曜日に計二回の教室が開催されます。



催し

町民登山 く冬の百石山く

■日 程 2月14日(土)

午前8時30分に総合センター集合(送迎バス有)

■定 員 40人(先着順)

■参加費 千五百円(バス送迎、保険料含む)

■募集期限 2月10日(火)

■その他 駐車場がないため、送迎バスを利用してください。

■申込先 小国山岳会(羽田 ☎ 62-2398・渡部 ☎ 62-2692)へ

木造建築物のすばらしさ「課題と展望」セミナー

■日 時 2月7日(土)

午後1時30分く

■場 所 アスモ3階

多目的ホール

■内 容 基調講演など

■問合先 小国町商工会

(☎ 62-4246)へ

県による高校再編説明会

■日 時 2月19日(木)

午後7時く8時30分

■場 所 総合センター

■内 容 高校再編の進め方に関する説明

■問合先 県教育庁(☎ 023-630-3067)へ

募集

学校用務員等を募集

■募集職種

①学校用務員、②教育相談員、③学校支援員

■募集人員 各若干名

■受付期限 2月27日

(①のみ2月20日)

■問合先

教育委員会事務局へ

町営住宅入居者募集

■小坂町団地 3DK1戸

▼対象 所得制限がありませんので、お問い合わせください。

▼家賃 所得と家族構成により決定

■敷 金 家賃の3カ月分

■募集期限 2月9日(月)

■入居時期 2月下旬以降

■問合先 地域整備課へ

県営住宅入居者募集

■募集住宅 小国アパート1号 3DK2戸

■対 象 同居親族がいるかた(所得制限あり)

■募集期限 2月6日(金)

■入居時期 3月下旬

■家 賃 所得により決定

■敷 金 家賃の3カ月分

■問合先 すまい情報センター(☎ 0238-24-2332)へ

みどり環境税事業説明会

■日 時 2月24日(火)

午後1時く3時

■場 所 総合センター

■その他 2月20日まで、この環境税を使った県民参加の森づくり活動を募集しています。

■問合先 産業振興課へ

健管センター展示作品募集

■募集期限 2月27日(金)

■内 容 趣味で作成した書道、絵画、陶芸など(展示日程は、取りまとめのうえ後日連絡)

■問合先 健康福祉課へ

ご案内

きてくろ館 開館時間変更

■期 間 2月1日(日)く

3月31日(火)

■時 間 午前10時30分く

午後3時

■その他 開館時間外の見学は問い合せてください。

■問合先 横川ダム管理支所(☎ 65-2363)へ

お知らせ

総合センター図書室から

●新着図書

- ◇のぼうの城 和田 竜
 - ◇左岸 江國 香織
 - ◇新・御宿かわせみ 華族夫人の忘れもの 平岩 弓枝
 - ◇チェーン・ポイズン 本多 孝好
 - ◇誘拐児 翔田 寛
 - ◇食堂かたつむり 小川 糸
 - ◇粗茶を一服 山本 一力
 - ◇シューカツ！ 石田 衣良
 - ◇これ一冊で裁判員制度がわかる 読売新聞社会部裁判員制度取材班
 - ◇楽しい非電化 藤村 靖之
- ※ほか多数入りました

●休館日 毎週月曜日、2月11日

☆なかよし広場☆

■日程と場所

2月5日、19日
総合センター

☆あそびの広場☆
■日程 2月10日、17日
子育て講座「身体測定」
24日、3月3日
■時間 午前10時～
■場所 健康管理センター
■対象者 0歳から入園前
の子どもとお家のかた

子育て支援センターから

2月12日、26日

おぐに保育園

■時間 午前10時～
■対象者 0歳から入園前
の子どもとお家のかた

☆こども愛ランド☆

■日時 2月14日(土)

午前9時30分～

■場所 健康管理センター
■内容 雑穀料理、人形
劇鑑賞

■申込期限 2月12日(木)

■問合先

子育て支援センターへ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
(有) 花のひらの	生花販売・配達	1人	8:00～17:00(ほか)
(株) 船山工務店	土木施工管理技士	2人	8:00～17:00
小国開発(株)	一般作業員(ほか)	6人	8:00～17:00
遠藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00～17:00
猪野電気工事(株)	内・外線工事作業員	2人	8:00～17:00
(有) 蔵王ストアー	レジ係	1人	8:45～18:00
(株) ケイブプロダクツ	営業	1人	9:00～18:00
ハイコー(株)	電気工事(見習い可)	2人	8:00～17:00
(株) 横川建設	土木施工管理技士(見習い可)(ほか)	4人	8:00～17:00
安部工業(株)	型枠大工(ほか)	2人	8:00～17:00
大河内産業(有)	ダンプ・重機運転士(ほか)	7人	8:00～17:00
(株) ナウエル	設備業務及び運転手	1人	8:30～17:30
第一ホール小国店(有) コンズカンパニー	ホールスタッフ	1人	8:00～22:30(7時間)
(有) 白い森よこね物産品直売所	販売他	3人	9:00～18:00(5時間程度)
小国町役場	臨時雇用職員(事務)	12人	8:30～17:15
小国町役場	臨時雇用職員(文書配布)	1人	8:30～17:15
小国町役場	臨時介護職員	1人	8:30～17:15
小国町役場	臨時雇用職員(森林作業)	5人	8:30～17:15
小国町役場	保育士	1人	8:30～17:15
小国町役場	臨時雇用職員(清掃及び除雪)	1人	8:30～12:30
小国町役場	臨時雇用職員(運転業務)	1人	8:30～10:30 15:00～17:00

今月の納税

今月の口座振替日は、次のとおりです。振替前日まで指定口座に入金してください。

- 2月26日(木) 水道料
- 3月2日(月) 後期高齢者保険料8期、国民健康保険税8期、介護保険料、下水道料・簡易水道料、住宅使用料、保育料

■問合先 税務出納課へ

求人情報

左の表は1月27日現在の求人内容です。無効になっている場合もありますのでご了承ください。※詳しいことは、ハローワーク長井(☎84-8609)へ

保健力レンダー

■問合先 健康福祉課へ

乳幼児健診	月日	受付時間	対象(生まれた月)	場 所
4カ月児健診	3/27	13:00～13:15	平成20年11月	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳
1歳児健診			平成20年3月	
1歳6カ月児健診	3/13	12:30～13:00	平成19年7月～9月	

相 談

年金相談

- 日 時 2月18日(水)
 受 付 10:30～14:30
 相 談 11:00～
 ■場 所 役場町民相談室
 ■対応者 社会保険事務所職員
 ■問合先 町民課へ

人権相談所

- 日 時 2月27日(金)
 10:00～12:00
 ■場 所 総合センター
 ■対応者 町人権擁護委員など
 ■問合先 町民課へ

債務整理無料相談会

- 日 時 2月12日(木)
 17:00～19:00
 (希望するかたは2月10日(火)
 17時まで予約してください)
 ■場所及び申込先 東北労働金
 庫小国支店(☎62-4456)へ

なんでも労働相談ダイヤル

0120-154-052

- 日 時 2月14日～20日
 9:00～19:00
 ■内 容 仕事に関する相談な
 らどんなことでも結構です。

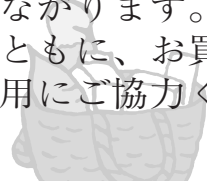
ごみ減量運動推奨店を募集

町では、ごみ減量化を図るため、レジ袋の配布を抑制し、マイバックを推奨する商店を募集しています。主旨に賛同いただいた商店には、専用プレートを証明として交付します。

～協力しあって、ごみ減量を～

ごみの減量化は、多くのかたに協力いただくことが、大きな効果につながります。日頃から減量化を心がけるとともに、お買物の際には、マイバックの使用にご協力ください。

■問合先 町民課へ



2月6日(金)児童手当を振り込みます

2月期(20年10月～21年1月分)の児童手当を2月6日に振り込みます。振込通知書は送付しませんので確認してください。児童手当は申請に基づいて支給されます。申請していないかたは手続きをしてください。

- 平成8年4月2日以降生まれで、小学校修了前の児童を養育しているかた
- 転入届はしたが、児童手当の手続きをしていないかた
- 児童手当を受給しているかたで、新たに子どもが生まれたかた
- 所得超過で資格を喪失したが、所得状況の変動などで限度額を超えなくなったかた

■問合先 健康福祉課へ



小国町役場 ☎62-2111(代) FAX62-5464
 住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
 出納室 ☎62-2406
 建設管理室・上下水道室 ☎62-2431

行政管理室 ☎62-2112
 国保医療担当 ☎62-2261
 農林振興室 ☎62-2408
 建設技術室 ☎62-2432

政策企画室 ☎62-2264
 税政管理室 ☎62-2403
 商工振興室・交流推進室 ☎62-2416
 議会事務局 ☎62-2448

平成21年度分 町・県民税の申告相談

2月9日(月)～
3月16日(月)

平成21年度分の町・県民税申告相談を開催します。

申告期限は3月16日(月)までです。申告期限が近づくと大変混雑しますので、なるべく指定された期日に相談会場においでください。

■町・県民税の申告が必要な方

「平成21年1月1日現在で、小国町に居住しているかた」なお、次のかたは、申告書に必要事項を記入押印して役場税務出納課へ提出してください。

- 税務署に確定申告をしたかた、またはする予定のかた（税務署申告と表示してください。）
- 給与収入を1カ所のみから受けるかたで、勤務先から小国町へ年末調整済みの給与支払報告書が提出されているかた（年末調整済と表示してください。）
- 平成20年中にまったく収入がなかったかた（収入なしと表示してください）

■申告に必要なもの

- ①申告書および印鑑
- ②収入が確認できる次の書類

- 給与・公的年金収入……平成20年分の源泉徴収票
- 営業・不動産収入……収支内訳計算書、売り上げや仕入れの帳簿類、必要経費の領収書など
- 農業所得……農産物の出荷伝票、仕切書、請求書、領収書、借入金利子証明書、新規に購入した農機具などに関する書類、その他収入および経費が明らかになる書類
- 雑所得・一時所得……支払証明書や通帳など収入金額が確認できる書類

③所得控除を受ける場合に必要な各種領収書や支払金額を証明する書類、または申請書など

④通帳など申告者本人の口座が確認できる書類

■その他

申告書と一緒に送付される「申告の手びき」等を必ず一読し、持参する書類を確認してください。また、確定申告書はインターネットでも作成できますので（<http://www.nta.go.jp>）ご利用ください。

■問合先 税務出納課

平成21年度分町県民税 申告相談受付日程

月 日	相談会場	午前の部		午後の部	
		受付時間	相談対象地区名	受付時間	相談対象地区名
2月9日 月	役場大会議室	9時～11時	本町1・2・3	1時～4時	本町1・2・3
10日 火	役場大会議室	9時～11時	幸町1・2	1時～4時	幸町1・2
12日 木	役場大会議室	9時～11時	上岩井沢	1時～4時	緑町1・2
13日 金	役場大会議室	9時～11時	小国町1・2	1時～4時	坂町1・2
16日 月	役場大会議室	9時～11時	坂町3・5	1時～4時	駅前1・2、栄町1・2
17日 火	役場大会議室	9時～11時	東原	1時～4時	町原
18日 水	役場大会議室	9時～11時	あけぼの	1時～4時	松岡
19日 木	役場大会議室	9時～11時	北、西	1時～4時	旭町、小芦
20日 金	役場大会議室	9時～11時	平林	1時～4時	小渡
22日 日	役場大会議室	9時～11時	休日相談日	1時～4時	休日相談日
23日 月	役場大会議室	9時～11時	大宮、宮ノ台	1時～4時	田沢頭
24日 火	役場大会議室	9時～11時	兵庫館1・2	1時～4時	館
25日 水	役場大会議室	9時～11時	岩井沢1・2	1時～4時	増岡
26日 木	役場大会議室	9時～11時	地蔵町	1時～4時	種沢
27日 金	アスモ多目的ホール	9時30分～11時	全地区(割当日に都合がつかない方)	1時～3時30分	全地区(割当日に都合がつかない方)
3月2日 月	アスモ多目的ホール	9時30分～11時	伊佐領	1時～3時30分	綱木箱口
3日 火	アスモ多目的ホール	9時30分～11時	舟渡	1時～3時30分	舟渡
4日 水	アスモ多目的ホール	9時30分～11時	今市	1時～3時30分	尻無沢
5日 木	アスモ多目的ホール	9時30分～11時	古田	1時～3時30分	大滝
6日 金	梅花皮荘	9時30分～11時	小玉川、泉岡	1時～3時30分	長者原、玉川中里
9日 月	玉川コミュニティーセンター	9時30分～11時	足野水、中田山崎、片貝、市野沢	1時～3時30分	玉川、玉川新田
10日 火	水源の郷交流館	9時30分～11時	上叶水、下叶水	1時～3時30分	新股、河原角、上大石沢、下大石沢
11日 水	白沼小中学校	9時30分～11時	白子沢、桜沢、間瀬、明沢	1時～3時30分	沼沢1・2
12日 木	越中里公民館	9時30分～11時	六ヶ字	1時～3時30分	越長
13日 金	足中克雪管理センター	9時30分～11時	百子沢、足水中里、樽口		
16日 月	りふれ	9時30分～11時	三ヶ字、石滝	1時～3時30分	五味沢

※昨年とは違う日程になっておりますので、ご注意ください。

職場を訪ねて ⑩

～さいわい荘～

今回は、特別養護老人ホーム「さいわい荘」を訪ねました。



「年を重ねて、いろいろな経験をしてきたお寄りとの会話が、とても楽しい」と語る渡部さん

さいわい荘は、昭和59年に開所して以来、現在80人が入所利用しているほか、ショートステイやデイサービスなども行っています。

介護員として働く渡部真弓さん(東原)は、利用者のかたの食事や入浴の際に、介助や身の回りのケアを行っています。「さいわい荘には、中学生の時にボランティアで来たことがあり、それをきっかけに、福祉の道を選びました。じいちゃんっ子、ばあちゃんっ子だったことも影響しているかもしれません。仕事は、夜勤もありますし、体力的に大変な面もありますが、笑顔や『ありがとう』の一言が、うれしくて力になっています」と話していました。

戸籍のまど

誕生おめでとございます。

あけぼの 塚 原 たくや 哉 (雅 哉子 幸)

おくやみ申し上げます。

増	岡	木	村	五 郎	(82)
	北	田	口	清次郎	(74)
河	原	角	伊 藤	ハルヨ	(85)
今	市	高	野	いえ子	(70)
岩	井	沢	高 井	ろ く	(91)
荒	沢	山	口 鉄	巳	(78)
栄	町	丹	六 郎		(88)
樋	ノ	沢	齋 藤	廣 男	(60)
小	玉	川	渡 邊	ヨ ネ	(81)
小国小坂町	伊	藤	公 子		(67)
兵 庫 館	矢	部	邦 由		(43)
折	戸	齋	藤 秋 子		(61)
岩	井	沢	相 馬	富美子	(99)
岩	井	沢	高 橋	いわゑ	(90)

人口のうごき

人 口 男 … 4,552人(－5)
 女 … 4,795人(－13)
 計 … 9,347人(－18)
 世帯数 3,262世帯(－4)
 平成20年12月31日現在

編集後記

日本時間の一月二十一日、米国史上初めてのアフリカ系大統領として、バラク・オバマ氏が就任しました。渦巻く大勢の観衆とともに、その瞬間をかみしめるように涙ぐむ年配のかたがたが印象的で、大きな歴史の変革を迎えたことを実感しました。

また、四日後の二十五日には、山形県知事選挙が行われ、今後の県政を担うニューリーダーが誕生しました。舞台は違いますが、同じように選挙によって選ばれた両リーダー。私たちもまた、新しい責任の時代を迎えています。(片桐)